

## 地方会議（山形県米沢市）

### 1. 日時、場所

平成24年5月12日（土） 15時～17時  
伝国の杜 大会議室

### 2. 参加者

地元の若手・女性の中小企業経営者等 70名

### 3. 参加者の意見

#### （1）出された意見数（課題別）

全体意見数	47
資金調達	3
経営指導・経営支援	18
技術力・人材（技能承継等）	3
取引関係（下請取引・流通構造等）	1
販路開拓（海外展開等）	0
若手・青年層の活力発揮	8
女性層の活力発揮	2
「地域」の中の中小・小規模企業（商店街等）	7
その他	5

#### （2）主な意見

##### 【資金調達】

- ・ 小規模企業には出資をしてもらえない。ファンドができるような支援や規制緩和ができないか。

##### 【経営指導・経営支援】

- ・ 第三者保証や個人保証のため、小規模企業は命がけで融資を受けてやっている。事業承継でも創業でも、すべて賭になってしまい、失敗が許されない。個人保証の廃止を経済産業省でやってほしい。
- ・ 中小企業施策は、大都市と地方が一様な制度であることはおかしい。置かれている立場や状況は異なる。
- ・ 経済産業省の施策は、一般的には使い勝手は良い方だが、ちいさな企業が申請するには、ハードルが高い支援メニューが多い。国の政策で感じることは、突発的なことがあったときの柔軟性がもう少しあるべき。

#### 【技術力・人材(技能承継等)】

- ・ 後継者づくりのために、60歳の定年を超えた人もずっと働いてもらい、若手に教えてもらっている。溶接は5年、10年でやっものづくりができるといったレベル。後継者づくりは簡単にいかない。
- ・ フリーターとか、若手の雇用対策はたくさんあるが、現在、働いている人の支援は薄い。企業には人材育成を行う余裕はないので、そういった支援をやってほしい。

#### 【取引関係(下請取引・流通構造等)】

- ・ 官公需について、価格競争で地元落ちない場合がある。公共事業を確実にその地域に落とす施策、改善をお願いしたい。

#### 【若手・青年層の活力発揮】

- ・ 若手の育成には投資が必要。しかし、中小企業では給与を払いながら若手の投資をしていくことは困難であり、弱体化している。
- ・ 青年層について、雇用が促進できない最大の理由は将来への不安。数年後どうなるかわからない状況では、新しい雇用はできない。

#### 【女性層の活力発揮】

- ・ 女性の働き方について、キャリアを継続して働ける仕組みがあるとよい。経営者の立場からすると、産休の間に誰が代理をするのか、即戦力を雇えるのか、復帰後にやめてもらわなくてはならないのかといった問題がある。例えば、学校の先生が産休・育休を取るときは、育休代理用の講師の登録制度がある。中小企業の場合でも短期間で変わってもらえるような全国での登録制度があればよいと思う。

#### 【「地域」の中の中小・小規模企業(商店街等)】

- ・ 生活に必要な米沢では、生活防衛の観点から、ちいさな企業が歯を食いしばって頑張っていることをご理解いただきたい。買い物難民のために一日の売り上げが低くても、アルバイトをしながらお店を継続している人もいる。
- ・ 旅館業は、非常に地域性のある商売。温泉はその場所でないと沸かないものであり、簡単に移転できない。旅館の歴史、日本の文化として繋げていかなければならない。行政区画を超えた、全国的なネットワークができていますので、そういったもので、ご指導いただければと思う。

#### 【その他】

- ・ 支援事業申請のために行ったプレゼン内容が、競合会社にリークされたという疑念を抱いている。現場で何が起きているか、しっかり見て欲しい。